

歴史的景観で街活性化

栃木 金沢から学ぶ

金沢市の事例を紹介する川上名誉教授



で開かれた。市民ら85人が先進事例を学んだ。

市と宇都宮大教育学部の陣内雄次研究室が共催。

金沢市の街づくりに力を尽くしている川上光彦金沢大名誉教授が講師を務めた。

川上名誉教授は寺院を中心とする寺内町から前田氏が治める城下町に変貌を遂げた金沢の歴史を解説。街づくり関連条例の制定や嘉右衛門町地区と同様、国重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けた

り、技術の継承のために職人向けの学校を設立したりするなど同市の取り組みを紹介した。

約15年前に市内を訪れたことがあるという川上名誉教授は「当時と比べて蔵の利活用が進んでいるように感じる」と評価。その上で「歴史的な建造物の多くは街の中心に位置する。景観の保全は中心市街地の再生、活性化への取り組みと重なる」と力説した。

(吉田隆則)

【栃木】歴史的な景観を

の未来像を考える「歴史的

生かした街づくりを進める

町並みを活かしたまちづく

金沢市の事例を参考に、市

り講演会」が29日、市役所